

新型コロナウイルス感染症の爆発的拡大をおさえるための 緊急声明

7月の後半に入り、東京をはじめ全国的に感染拡大が急増しており、医療の逼迫が始まっている。

医療の逼迫を改善、又は回避するためには、感染拡大を抑えるしか道がない。

このことを相互に理解・認識し、国民・政府・医療界が一体となって感染症の拡大防止に力を注ぐことが重要であり、国として強いメッセージを発していただきたい。

1. これまでの傾向で、連休や年末年始における感染の急拡大が見られたことから、これから本格化する夏休みには更なる感染拡大が懸念される。都道府県を越えた移動を極力抑える施策を講じていただきたい。
2. ワクチンの接種をより推進することにより重症化率を抑制することが期待できる。そのことに鑑み早期に国民全体にワクチンが行き渡るよう供給いただきたい。
3. 感染経路を断つことによる感染拡大防止策は、もはや限界に達していることから、抗原検査を活用し、より強力な感染源対策を講じていただきたい。
4. 新型コロナウイルス感染症対応の医療と通常医療を両立することが重要であり、通常医療が提供できずに、平時であれば救えた命を失うことはあってはならない。そのため

にも、政府に対して、感染拡大を食い止めるため、あらゆる手段を講じていただきたい。

令和3年7月30日

四病院団体協議会

一般社団法人 日本病院会

会 長 相 澤 孝 夫

公益社団法人 全日本病院協会

会 長 猪 口 雄 二

一般社団法人 日本医療法人協会

会 長 加 納 繁 照

公益社団法人 日本精神科病院協会

会 長 山 崎 學